

出田 敬三



概要

氏 名 出田 敬三 (いでた けいぞう)

職 業 作曲家・指揮者

熊本音楽短期大学副学長・教授

住 所 熊本市出仲間7丁目7番6号

電話番号 096-378-7664(自宅)

096-282-0506(熊本音楽短期大学)

主な活動地 熊本県・東京・欧米

(特別賞)

平成九年九月十四日、ニューヨークのカネギーホールにおいて、音楽家なら誰もがあこがれるこの殿堂の重圧と栄光を一身に受けて、熊本音楽短期大学ブラスオーケストラと合唱団を指揮し、自作曲の「熊本民謡によるパラフレイズ」、「フュージョン」等を演奏、満員の聴衆を魅了していった。プログラムが進むにつれ会場は感動の渦となり、フイナルでは聴衆の総立ちの中、大きな拍手と「グラボト」の歓声に包まれた。「クモト」の若い音楽の力を世界に示した日であった。

現地ニューヨークの新聞も絶賛した同大学カネギーホール単独公演の成功は、音楽監督及び指揮を担った出田敬三氏あつてのことであり、このことは県民のみならず全国の音楽関係者にも大きな感動を与えた。

音楽の都ウイーンで作曲と指揮を学び、若くして熊本の音楽界のホープとして活躍してきた氏は、「日本の作曲家97」の一人に選ばれるなど、今や日本を代表する現代音楽作曲家である。また、地元根ざした精力的な活動にもめざましいものがあり、教授を務める熊本音楽短期大学での学生への指導をはじめ、「交響詩曲『火の国』やオペラ『細川ガラシア』、「おもものバツテン嫁入り」等、熊本を題材とした作品も多い。「こころコンサート」におけるテーマ曲の作曲及び四千人の大合唱の指揮、「くまもと未来国体」のテーマソング作曲など、現代音楽からポピュラー音楽までの幅広い作曲活動、さらに、指揮者として東京シテイツルや九州交響楽団との共演など、グローバルな音楽活動は枚挙にいとまがない。

今後、芸術家としてさらなる大成とともに、熊本から世界に向けての活躍が期待される。

これまでの活動歴

- ・昭和五十八年三月 〔笹川寛〕受賞（日本国民音楽振興財団主催）
オーストリア現代音楽週間作曲・作品発表（ウイーン市）
- ・平成元年 オペラ「細川ガラシア」作曲・指揮（東京・熊本）
ウイーン帰国五周年記念「出田敬三作曲リサイタル」
アートウイークスモトリモノタナ公演
- ・平成四年七月 アメリカ合衆国メイン州ポートズマウス市「名誉市民証」
第一回「こころコンサート」のテーマ曲作曲、指揮
全国ゆこあいピック熊本大会式典の作曲・指揮
- ・平成六年 現代日本の作曲家、自作自演による「合唱祭」にて作曲・指揮（東京サントリホール）
ピアノ協奏曲「カプリチオ」作曲、回曲
ホーランド国立クワクワ室内管弦楽団により演奏され、CD・楽譜発売
- ・平成九年一月 オペラ「おもものバツテン嫁入り」公演（作曲、指揮）
「日本の作曲家7出版記念演奏会」で作曲作品「フュージョン」が演奏される（東京文化会館）
- ・六月 第二回「こころコンサート」テーマ曲作曲・指揮
- ・九月 熊本音楽短期大学開学二十五周年記念コンサート・カネギーホール公演（音楽監督・指揮・作曲）